



平成 27 年 6 月 19 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗
(TEL 045-478-0041)

九州大学、九州がんセンター医師主導治験に関わる 治験薬製造支援契約締結のお知らせ

株式会社メディネット(以下「当社」)は、国立大学法人九州大学(以下「九州大学」)より治験薬「ATL-DC-101」の製造支援業務の委託契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 23 年 7 月より、九州大学先端医療イノベーションセンターに設置された細胞培養加工施設(以下「CAMI-CPC」)の運営管理業務、並びに本イノベーションセンターで実施される免疫細胞治療に必要な細胞培養技術者、細胞培養加工に関わる製造技術・ノウハウ、信頼性保証技術等を総合的に提供してまいりました。

九州大学は、独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター(以下「九州がんセンター」)からの委託を受け、医師主導治験「病因ウイルス特異抗原を標的とした成人 T 細胞白血病既治療例への新規複合的ワクチン療法:抗 CCR4抗体を併用した自家樹状細胞療法(第 I a/II b 相試験)」(研究代表者:九州がんセンター 末廣陽子 細胞治療科・血液内科医長)について、厚生労働科学研究費補助金の分担研究として、その治験薬(ATL-DC-101)製造を CAMI-CPC で行う予定となっています。

本契約にあたっては、これまでの CAMI-CPC における当社の管理実績、並びに当社が保有する免疫細胞加工に関わる豊富な経験を踏まえた治験薬 GMP に対する知見を活用した製造・品質管理体制を構築し、本業務を受託することとなりました。

当社は、これまでの国内外での共同研究の経験と知見を生かし、今後も、臨床研究から、治験、商業生産に至るまで、再生・細胞医療の実用化、商業化を通じて、再生・細胞医療分野の発展に寄与してまいります。

なお、本件は業績に与える影響が軽微であると見込んでおりますが、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以上